



## 企業間マッチングへの参加企業募集のお知らせ

福島県産業支援機関ネットワーク会議主催(県産業振興課所管)で、県内6産業支援機関の技術コーディネーターが企業から新商品開発等ニーズをお聞きし、県内各地域からマッチング候補企業を御紹介いたします。

なお、昨年はプレゼン企業10社に対し、県内企業22社をご紹介いたしました。

本機構においても地域の参加企業を募集し、申込者にはプレゼンを行っていただきます。

日 時：令和6年6月25日(火) プレゼン方法：オンライン(参加無料)

申込期限：令和6年5月24日(金) ※詳細は下記まで電子メールでお問い合わせください。

問 合 先：(公財)郡山地域テクノポリス推進機構 技術コーディネーター 大河原(E-mail: okawara@nm.net6.or.jp)

## 令和6年度 郡山市チャレンジ新製品認定事業の申請を募集

事業内容：市内中小企業等が開発する幅広い分野の新製品等の販路開拓や普及拡大を支援するため、新規性や独自性を有する新製品等を開発・提供する市内中小企業等を、新たな事業分野の開拓を図る者として市が認定するとともに、その新製品等の一部を市が試験的に購入して評価する事業です。

対 象：郡山市内に事務所又は事業所を有する中小企業者等

申請期限：令和6年5月24日(金)まで(当日消印有効)

申請方法：チャレンジ新製品認定申請書及び実施計画書に必要書類を添えて、郵送又は持参によりご申請ください。

※募集要項、チャレンジ新製品認定申請書及び実施計画書等は市ウェブサイトからダウンロードできます。

提 出 先：〒963-8601

郡山市朝日一丁目23-7

郡山市 産業観光部 産業創出課 チャレンジ新製品認定事業担当

U R L : <https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/121/105126.html>



## 研究開発・地域技術起業化 助成事業の公募のお知らせ

ものづくり企業の皆様の研究開発活動等を支援する下記の助成制度を5月31日(金)まで募集しています。

### ・研究開発助成事業

(新技術または新製品の開発に関する研究開発費等)

### ・地域技術起業化助成事業

(地域技術を利用した商品開発費等)

各助成事業の内容や応募方法については、当機構ホームページをご覧ください。

助成事業に該当するか等の事前相談にも対応していますので、皆様からのご応募をお待ちしています。



### New Face



技術振興課長  
斎藤 健司  
◀須賀川市より派遣▶

4月よりテクノポリス推進機構の一員となりました、斎藤健司です。

ランニングが趣味で毎月50キロ以上走ることを目標にしています。

初めてのことばかりで、毎日がアツという間に過ぎてしまいましたが、1日も早く知識やノウハウを吸収し、皆様のものづくりを支えていける存在になれるよう努力していきますので、よろしくお願い致します。

# ものづくりインキュベーションセンター入居者審査委員会 開催報告

4月22日(月)にインキュベーションセンター会議室において、入居者審査委員会を実施しました。入居延長希望2社について、各企業様が事業計画を発表した後に審査員との質疑応答を実施しました。

厳正なる審査の結果、下記のとおり入居が決定しました。

	No.	企業名・代表者	研究開発内容	入居期間
延長	3	株式会社benefic 代表取締役 佐藤 洋介	アプリやWebのチェックを行う「第三者検証」の研究開発 きゅうりの6次化に関する研究開発	令和6年6月1日～令和7年5月31日
	6	特定非営利活動法人 福島住まいまちづくりネットワーク 理事長 難波 和彦	木質パネルを利用した構法、縦ログ構法の改良に向けた研究開発	令和6年5月16日～令和7年5月15日



委員長挨拶



プレゼンの様子



質疑応答

## 【コラム】郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議会員企業から

### 【会社創業の経緯】

当社は2006年、医療機器の販売会社として創業しました。社名に「スパイン(=脊椎)」を謳ったように、脊椎外科分野を柱に据え、輸入品の販売を手始めに、将来的には自社製品の開発、販売を目標としました。創業時に日本での総代理店となった米国ベンチャー企業の脊椎インプラント販売が軌道に乗った2016年、新設されたふくしま医療機器開発支援センター技術開発室への入居を機に、自社製品の開発に着手しました。

### 【現在の事業内容】

創業時からの柱である脊椎インプラントの販売が現在も事業の中心ですが、周辺分野への事業拡大に向け、放射線防護用製品、手術室関連製品も新たな事業の柱として徐々に育ってきております。放射線防護分野では、医療従事者の職業被曝についての啓蒙を行い、放射線防護用手袋等が新たな事業基盤となってきており、また、手術室関連製品としては、コストや使い勝手等の目線から、新たな製品の導入、販売拡大を図っています。

### 【今後の目標】

2016年から開発を進めてきた自社インプラント第1号の「SAKURAケージTi」が2023年に薬事承認となり、現在、その発売準備を進めております。本品の販売を軌道に乗せることが当面の目標ですが、自社開発インプラント第2号、第3号の製品化に向けて、引き続き開発に取り組んで参ります。並行して、海外で日々開発が進む新たな医療機器の導入や、自社製品の海外展開についても取り組んで参りたいと思います。



株式会社サージカル・スパイン  
代表取締役 宮田 重夫

